人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

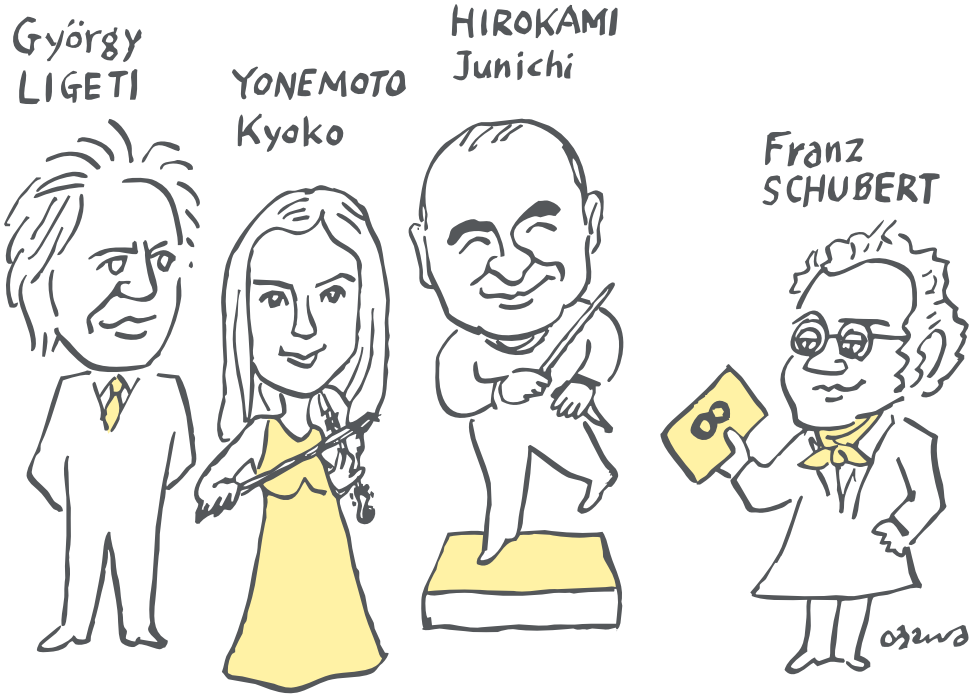
創立指揮者 渡邊曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2024
7
JUL

第762回
東京定期演奏会



サントリーホール
2024年7月12日（金）19:00
7月13日（土）14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

電源OFF

アラームOFF　電源OFF

演奏中は携帯電話や時計のアラームなど
デジタル機器の電源はお切りください。

音にご注意を

ビニール袋
鞄にしまう、またはいすの下へ置くなど
物音がたたないようにご配慮ください。

マジックテープやファスナーの音
開け閉めの音は意外に響きます。
演奏前にご確認ください。

飴の袋
客席内の飲食はご遠慮いただいて
おります。お咳の予防等でご利用
の際は、演奏前にお口の中に
いれるか、あらかじめ袋から出して
おく等のご準備をお願いいたします。

鈴などアクセサリーがついたストラップ
鞄にしまうなど鳴らないように
ご配慮ください。

補聴器の音
ハウリングをおこさないよう、
しっかりと装着し、適切な音量に
調整をお願いいたします。

声と拍手にご注意を

私語　せき

演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って
響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。
最後の余韻までお楽しみください。

撮影禁止

録音禁止　録画禁止　写真撮影禁止

演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。
※演奏終演後に写真撮影可能な公演がございます。
詳細は公演時にご案内いたします。

周囲にご配慮を

身を乗り出さない　つばの広い／高さのある帽子

席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮って
いることもございます。周囲にご配慮を。

終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、
動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
・フラッシュの使用はお控えください
・動画の撮影はお控えください
・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
・自撮り棒などの使用はお控えください
・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください（録音・録画は違法行為です）

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ　#日本フィル　#japanphil　をつけてください!

目次 CONTENTS

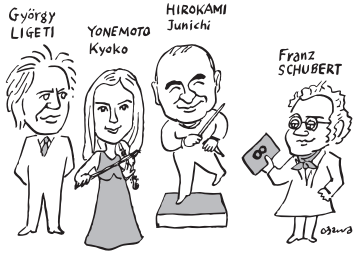
©山口 敦

- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 奥田 佳道 - 8
- 写真プレイバック- 2024年5月～6月 - 11
- 次回東京定期演奏会　指揮者にインタビュー カーチュン・ウォン編 12
- 今後の日本フィル出演公演 14
- 2025年4月広上淳一＆日本フィル「オペラの旅」始動 16
- あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 18
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 25
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 26
- パトロネージュご芳名 30
- Member's TVU CHANNEL 配信一覧 32
- ジェームズ・ロッホラン氏 追悼 33
- インフォメーション 34
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 35

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
SUBSCRIPTION CONCERTS　Vol.762

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 762nd SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第762回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall

2024年 7月12日(金)午後 7時開演 ／ 13日(土)午後 2時開演
7:00p.m., Friday, 12th & 2:00p.m., Saturday, 13th July, 2024

■ プレトーク「本日の聴きどころ」
東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は広上淳一さんと奥田佳道さんです。

金曜日／ 18：30 ～
土曜日／ 13：20 ～

主　　催 ／ **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**
協　　賛 ／ **株式会社ウテナ　鹿島建設株式会社**
三井不動産株式会社
ホッカンホールディングス株式会社
UBE株式会社

助成：文化庁
文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

表紙イラスト／ 小澤 一雄

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

リゲティ：ヴァイオリン協奏曲　約30分
György LIGETI: Concerto for Violin and Orchestra

休憩（15分）Intermission

シューベルト：交響曲第8番《ザ・グレート》ハ長調 D.944　約48分
Franz SCHUBERT: Symphony No.8 "The Great" in C-major, D.944

指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］
Conductor: HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/ Artistic Advisor

ヴァイオリン：米元 響子
Violin: YONEMOTO Kyoko

コンサートマスター：扇谷 泰朋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

ご自宅で公演の感動を何度でも

7月12日（金）公演はライブ＆アーカイブ配信あり!

販売期間：～2025年1月11日
視聴期間：3か月
料　　金：1,000円
※リゲティのヴァイオリン協奏曲は配信いたしません。

Member's TVU CHANNELにて配信
https://members.tvuch.com

現在配信中の公演はP33をご覧ください

©Masaaki Tomitori

Conductor 指揮

広上 淳一
[フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）]

HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/ Artistic Advisor

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。

近年では、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。　オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。

2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

©Hirotada Onaka

Violin ヴァイオリン

米元 響子

YONEMOTO Kyoko

3歳よりヴァイオリンをはじめ、梶田昭、伊達良、桐朋学園「子供のための音楽教室」では鈴木亜久里に、後に海野義雄の各氏に師事。1997年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール（イタリア）において、史上最年少13歳で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝など数々の賞を受賞。2003年パリに移り、ジェラール・プーレ氏に師事。2004年からはオランダ・マーストリヒト音楽院とキジアーナ音楽院でボリス・ベルキン氏に師事し、（公財）ロームミュージックファンデーション、（一財）ヤマハ音楽振興会の奨学生として修士課程を修了。2008年「出光音楽賞」受賞。これまでにチョン・ミョンフン、ロベルト・ベンツィ、ユーリ・バシュメット、エリアフ・インバル、ハンス＝マルティン・シュナイト、ガブリエル・フムラ、ギュンター・ノイホルト、小泉和裕、小林研一郎、広上淳一ら著名指揮者をはじめ、国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ国立交響楽団、ケルン放送管弦楽団、リンブルフ交響楽団（オランダ）、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団、ビルバオ交響楽団、台北市立交響楽団等の海外オーケストラとも多数共演。室内楽の分野でもヨーロッパ・日本を中心に活躍中。近年ではイタリア・キジアーナ音楽院でブラームスの全曲演奏会、トリエステ・ヴェルディ劇場オーケストラ（イタリア）とプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第1番をペドロ・アルフテル＝カロの指揮で演奏し好評を博した。ベルギーの音楽祭では室内楽シリーズでジャン＝クロード・ヴァンデン・アイデン（ピアノ）やデイヴィッド・コーエン（チェロ）などと共演を果たしている。2019年3月、キングインターナショナルより初のCD『イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲（未完の新発見ソナタも含む）』を発売。文化庁芸術祭優秀賞、『レコード芸術』特選盤に選出された。現在、オランダ・マーストリヒト音楽院教授。使用楽器は1727年製のストラディヴァリウス（サントリー芸術財団より貸与）。

プログラム・ノート 解説：奥田 佳道

■ リゲティ：ヴァイオリン協奏曲

ハンガリーに生まれ、ドイツ、オーストリアをベースに活躍したジェルジ・リゲティ（1923-2006／ウィーン中央墓地に眠っている）の鮮烈な音楽は、以前から多くの指揮者、アーティスト、聴き手に愛されていたが、生誕100年の2023年を契機に新たな「リゲティ旋風」が巻き起こっている感を抱く。

バルトークやコダーイ同様、ルーマニアやハンガリーの民俗舞曲に想いを寄せた若き日の器楽曲に、電子音楽から派生した意欲作。音の層やずれを巧みに構築したミクロポリフォニー（リゲティ自らの命名、トーンクラスターの一種）の手法に基づく作品群。彼の創作人生を映し出すかのようなオペラ「ル・グラン・マカーブル」。いずれも素晴らしい。

半音よりも「音域の狭い」微分音やオーケストラの変則調弦もキーワードとなるヴァイオリン協奏曲は、近代音楽の泰斗（たいと）として知られたサシュコ・ガヴリロフ（1929年ドイツ、ライプツィヒ生まれ）の委嘱で書かれ、彼に献呈された。

多彩な技と表現を必要とするソロと、均一の音律をもたないオーケストラが醸す、高周波的ともいえる緊張感や劇的高揚はまさに比類がない。いっぽう、中世の多声音楽や東欧の民俗舞曲に通じるかのような摩訶不思議な旋法、独特の浮遊性も魅力で、無窮動的なパッセージともども聴き手を魔境へと誘う。

第1楽章　前奏曲　ヴィヴァチッシモ・ルミノーソ（とても活発に速く、輝くように）

微分音を交えた分散和音、常動曲的なパッセージ、ミニマルミュージックに通じる音の波・振動が特徴。打楽器各種、金管による創意に満ちた合いの手も私たちの喜びとなる。

第2楽章　アリア、ホケトゥス（しゃっくり）、コラール

ヴァイオリンのモノローグで始まる。アリア（歌）はリゲティの勝負メロディで、若き日の作品群にも顔を出す。響きの調和をあえて避けたかのようなオカリナとリコーダーも味。リゲティは「しゃっくり」部に関し、アフリカの民俗音楽とフランス中世の作曲家ギヨーム・ド・マショーからの影響を示唆。コラールは金管とフルートの見せ場。

第3楽章　間奏曲　プレスト・フルーイド（速く、流れるように）

浮遊感のある調べが舞い始める。しかし音楽はいつのまにか烈しく、鮮烈に。ソロとオーケストラが相乗効果を発揮。壮絶なエンディングへ。

第4楽章　パッサカリア　レント・インテンソ（遅く、はげしく）

8分の7拍子。バロック期の変奏曲パッサカリアによる緩徐楽章だが、インテンソが示すように緊張感のある鋭い高音も主役。オカリナ、リコーダーも彩りを添える。エンディングは烈しい。

第5楽章　アパッショナート　アジタート・モルト（きわめて、いらだつように）

終盤に置かれたカデンツァが華。何をどう弾くかは文字通りソリストの判断に委ねられている。近年はアデス作も知られるが、それまでの動機や旋法を交え即興を行なっても構わないのだ。オーケストラと聴衆を巻き込み、驚がくのパフォーマンスを披露する演奏家も出てきた。米元響子さんは初演者ガヴリロフのカデンツァを基に弾く。意表をつくエンディングまで、聴きどころは尽きない。

作曲　1990年（初稿全3楽章）、1992年改訂（最終稿全5楽章）
初稿初演　1990年11月3日ケルン、サシュコ・ガヴリロフのソロ、ガリー・ベルティーニ指揮WDRケルン放送交響楽団
最終稿初演　1992年10月8日ケルン、サシュコ・ガヴリロフのソロ、ペーター・エトヴェシュ指揮アンサンブル・モデルン

楽器編成：独奏ヴァイオリン、フルート2（アルトフルート、アルトリコーダー、ピッコロ、ソプラノリコーダー持替）、オーボエ（ソプラノオカリナ持替）、クラリネット2（Es管クラリネット、ソプラノオカリナ、バス・クラリネット、アルトオカリナ持替）、ファゴット（ソプラノオカリナ持替）、ホルン2、トランペット、トロンボーン、ティンパニ、シンバル、アンティークシンバル、テューブラーベル、ゴング、銅鑼、ウッドブロック、タンブリン、小太鼓、大太鼓、ムチ、スライドホイッスル、グロッケンシュピール、シロフォン、ヴィブラフォン、マリンバ、弦楽5部。

■ シューベルト：交響曲第8番《ザ・グレート》ハ長調D944

シューベルト交響曲芸術の昇華に抱かれる。湧き出る歌心、移ろいゆく音彩は申すに及ばず、執拗な（失礼）繰り返しも客席を魅了してやまない。大胆この上ない転調もまた。

まさに独Die Grosse Sinfonie（大交響曲）、英The Greatで、第4楽章には、1824年5月にウィーンで初演されたベートーヴェンの交響曲第9番の調べ――歓喜の歌の主題もこだまする。フランツ・シューベルト（1797-1828）は同年3月、友人に宛てた手紙のなかでベートーヴェンの第9初演に言及しつつ、新たな交響曲創作への意欲を語っている。

いっぽうホルン、トロンボーンの活躍も際立つ。シューベルトは交響曲第7番ロ短調《未完成》同様、トロンボーンを第1楽章から響かせた。このローブラスの活用に関する限り、27歳年上のベートーヴェン、36歳年下のブラームスの交響曲以上に積極的だ。

創作、初演の背景にドラマあり。実は分かっていないことも多い。

後に「グレート」と呼ばれるこの壮大な交響曲は、ウィーンに住むシューベルトの三つ上の兄フェルディナント（1794-1859）のもとを訪ねたロベルト・シューマン（1810-1856）によって総譜が発見され、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の楽長メンデルスゾーン（1809-1847）の指揮で1839年春に初演された―― 一般的にはそう解説される。

現在第8番とされる「大」ハ長調交響曲は1839年3月21日、メンデルスゾーン指揮ゲヴァントハウス管の1838年／1839年シーズンの第20回定期公演の1曲目に公開初演された。これは史実である。

しかし、シューベルトが幹部役員（名誉会員）として関わっていたウィーン楽友協会の文献や研究者によれば、上記の経緯は変わって来る。

生粋のウィーンっ子で希代の「歌人」でもあったシューベルトが1826年暮れ、楽友協会に宛てた文面を抜粋でご紹介する。

「わたくしは、芸術の追求を、あらゆる

方面から支えておられるウィーン楽友協会の崇高な理念に感銘を受けております。

ひとりのオーストリア人作曲家として、わたくしは自作の交響曲（グレート）を皆さまに献呈するとともに、この作品にいつまでも皆さまのご加護があることを願っています」

主に1825年夏にオーストリア、ザルツカンマーグート（湖水地方）の景勝地や温泉保養地で作曲され、愛するウィーン楽友協会に捧げられた交響曲第8番ハ長調「グレート」は、しかし全容を表わすことはなかった。楽友協会内の“オーケストラの練習”と称されていた試演会で一部が演奏された後、同協会主催の演奏会にはそぐわない、協会が理念として掲げていた教育や啓蒙にはふさわしくない作品と判断されたのだろう。自筆譜は放置される。他人浄書の筆写譜、パート譜は作成された。

この交響曲を「発見」したシューマンに戻る。作曲家、評論家として名を挙げたいと考えていた彼は、1838年10月から1839年4月にかけてウィーンに住む。クララとの対面を彼女の父親に禁止されたことで、ライプツィヒを離れざるを得なかったというプライヴェート上の理由もあった。

ウィーンでの演奏や楽譜出版、ジャーナル発行に意欲を示していたシューマンは、シューベルトの兄フェルディナントのもとを訪ねるとともに、ウィーン楽友協会の幹部と交友。同協会の古文書資料室に10年以上放置されていた「グレート」の自筆譜を研究する機会に恵まれた。その後、入手した筆写譜を盟友のメンデルスゾーンに送る――ウィーン楽友協会資料室の前室長オットー・ビーバ博士らによれば、これが史実となる。

細かな経緯はともかく、この長篇交響曲に価値を見出し、1839年暮れか1840年春にメンデルスゾーン指揮による再演か三度目の演奏を味わったドイツ・ロマン派の化身ロベルト・シューマンの言葉が示唆に富む。

「すべての楽器が人の声になっています。熟達の作曲技法に加えて、音楽のすべての組織の中に命が宿っているのです。

最高に精妙な味わいの色彩があり、すべてのパートに意味があります。最後には、真にロマン的な気分が降り注ぎます。

そして、どうしても言っておきたいのは、この交響曲の天国的な長さのことです」。

第1楽章：アンダンテ～アレグロ・マ・ノン・トロッポ　ハ長調　2分の2拍子
第2楽章：アンダンテ・コン・モート　イ短調　4分の2拍子
第3楽章：スケルツォ、アレグロ・ヴィヴァーチェ　ハ長調、トリオ（中間部）はイ長調　4分の3拍子
第4楽章：フィナーレ、アレグロ・ヴィヴァーチェ　ハ長調　4分の2拍子

作曲年代:1825～1826年
公開初演:1839年3月21日ライプツィヒ・ゲヴァントハウス会館にて　メンデルスゾーン指揮ゲヴァントハウス管弦楽団

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、弦楽5部。

Playback プレイバック

5月、6月の公演を振り返ります

PHOTO 1
5月10日、11日 東京定期演奏会
首席指揮者カーチュン・ウォンさんと待望のマーラー9番でした。土曜日公演が完売する等、早くから注目を集めていたこの公演、静寂の空間を皆様と共に紡ぎあげました。ありがとうございました

PHOTO 2
5月17日 さいたま定期演奏会、18日 横浜定期演奏会
井上道義マエストロとの最後の共演でした。ショスタコーヴィチのチェロ協奏曲第2番（独奏：佐藤晴真）、交響曲第10番をお届けしました。九州公演はじめ、たくさんの思い出が甦ります。舞台裏でも名残惜しく、多くの楽員がマエストロを囲みました。満員のお客様の熱い拍手をありがとうございました！

PHOTO 3
5月25日 特別演奏会、5月26日 名曲コンサート
カーチュン・ウォンさんと小菅優さんと共に、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、そしてチャイコフスキーの交響曲第5番をお届けしました。26日名曲コンサートの終演後にマエストロと小菅優さん、コンマス田野倉雅秋の3ショットをパチリ

PHOTO 4
5月28日 出張ロビーコンサート
年に数回、杉並区役所で開催しているロビーコンサート。今日は区役所を飛び出し、セシオン杉並で出張ロビコンを開催しました。クラシックの名曲から、ほっと心温まる曲まで盛りだくさん。ほろりと涙を流されるお客様もいらっしゃいました。多くのお客様にご来場いただき、ありがとうございました！

PHOTO 5
6月2日 芸劇シリーズ
『作曲家坂本龍一　～その音楽とルーツを今改めて振り返る』と題してお届けいたしました。箏にピアノ、合唱まで出演者もたくさん。終演後に、カーチュン・ウォンさんと、遠藤千晶さんと25弦箏と記念撮影です

PHOTO 6
6月6日、7日 東京定期演奏会
大植英次マエストロと我らが首席ホルン奏者信末の共演で、R.シュトラウスのホルン協奏曲第2番、ドヴォルジャークの交響曲第7番などをお届けいたしました。終演後、ホルンセクションの皆で成功の記念撮影を！

＊印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会
第763回

サントリーホール

2024年9月6日(金)19:00開演　プレトーク 八木 宏之氏 18:30〜

7日(土)14:00開演　13:20〜

生誕200年のブルックナーに捧ぐ「一曲入魂!」

1回券料金	S ¥8,500　A ¥7,000　B ¥6,000　C ¥5,000　P ¥4,500　Ys(25歳以下) ¥2,000

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

カーチュン・ウォン 編

きき手　八木 宏之

—首席指揮者としての2シーズン目は、ブルックナーの交響曲第9番で始まります。今年生誕200年を迎えるブルックナーは、マーラーと並んで、オーケストラ・ファンにもっとも愛されている作曲家のひとりです。カーチュンさんはこれまで、ブルックナーとどのように向き合ってこられたのでしょう?

私はクルト・マズアのもとでブルックナーの交響曲第4番を学んだほか、ルツェルンではベルナルト・ハイティンクによる第7番のマスタークラスも受講しました。アムステルダムではハイティンクとロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団の第5番のリハーサルにも立ち会っています。ハイティンクは、ブルックナーを偉大な作曲家と崇めすぎることが演奏を生真面目で硬いものにしてしまい、音楽に動きがなくなってしまうと注意していました。

ブルックナーは偉大な作曲家ですが、ごく普通の素朴な人でもありました。彼には今の時代なら問題になっていたかもしれないような欠点もありました。一方で敬虔なカトリック教徒として、教会音楽のために生涯を捧げた人物でもあります。ブルックナーのこうした複雑な人物像を理解することは、彼の交響曲を演奏するうえでとても大切なことです。

—日本フィルとブルックナーを演奏するのは今回が初めてですが、作曲家最後の交響曲である第9番を最初に取り上げるのはなぜなのでしょう?

20代の頃、私が最初に夢中になったブルックナーの交響曲は第9番でした。この交響曲の「神聖さ」はいつも私の心を揺さぶります。両端楽章はとてもゆったりとしたカンタービレで、スケルツォを中心に美しいシンメトリーをなしています。今回のように3楽章構成で演奏する場合、第9番の演奏時間は約1時間です。ブルックナーの交響曲のなかではコンパクトな部類に入り、初めてブルックナーを聴くひとにも親しみやすい作品なのではないでしょうか。

—カーチュンさんが考える第9番の聴きどころを教えてください。

私は長らく、ブルックナーの音楽の本質は緩徐楽章にあると考えてきました。第9番の第1楽章と第3楽章はまさにその典型といえるでしょう。第1楽章は3つの主題を持つブルックナー独特のソナタ形式で書かれています。これらの主題が絶妙なバランスで配置されていて、主題から主題へどのように移行するのかに解釈の余地があります。

激しい不協和音の響きが印象的な第2楽章は、悪魔的な性格を持つスケルツォです。この楽章のハーモニーはどこか解決し切らないところがあって、ハーモニーが解決へと至るプロセスが重要なブルックナーの音楽においては特異な存在でしょう。

第3楽章もブルックナーの真髄というべきアダージョです。ブルックナーはその先のフィナーレまで完成させようと奮闘しましたが、神の力が働いて、第9番はこのアダージョで締め括られることになりました。

ブルックナーの交響曲を同じテーマの繰り返しだと批判する人もいますが、ブルックナーはモチーフではなく、ハーモニーを展開することで音楽に緊張感を与える作曲家です。その点はシューベルトに近いですね。音楽をベートーヴェンやマーラーのようにミクロな視点で突き詰めるのではなく、巨大な建築のようにマクロな視点で捉えています。そしてなにより、ブルックナーの音楽は一つひとつのモチーフの質が非常に高いのです。それはまるで、良質な食材をシンプルな調理法で引き立てるイタリア料理のようです。

—ブルックナーの交響曲がイタリア料理とはとても面白い例えです!第4楽章付きの補筆完成版で演奏される機会も増えてきた第9番ですが、今回日本フィルとは3楽章版を演奏されます。

第9番のフィナーレが完成しなかったことには運命的なものを感じずにはいられません。近年の音楽学的成果が詰め込まれた第4楽章を含めてこの交響曲を演奏することはとても意義のある試みですが、第3楽章の静けさのなかで終わるスタイルも私は愛しています。私はいつも、第3楽章で終えるのか、それとも第4楽章まで演奏するのか、とても悩みます。今回は、日本フィルとは伝統的な3楽章版を演奏し、翌月のハレ管弦楽団との公演では4楽章バージョンを演奏するという結論に至りました。どちらも私の美意識に則した、魅力的な選択なのです。

—今回の演奏会には特別なゲストが参加すると伺いました。

ブルックナーの第9番を演奏するにあたり、ハレ管の若きコンサートマスター、ロベルト・ルイジさんを日本フィルに招くことにしました。ルイジさんはコンサートマスターになるために生まれてきたような音楽家で、彼と一緒にブルックナーを演奏することは日本フィルにとって素晴らしい経験となるでしょう。また彼が日本フィルでの体験をマンチェスターに持ち帰ることは、ハレ管にとっても意義深いことです。私にとって大切なふたつのオーケストラがこうして互いに交流し、刺激を与え合うことでどのような化学反応が生まれるのか、とても楽しみにしています。

助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会
文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

今後の日本フィル出演公演 2024年8月〜9月

2024	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
7月	第50回夏休みコンサート2024 サントリーホール 横浜みなとみらいホール　他で開催 **19日[金]〜8月6日[火]**	夏休みコンサート2024 まもなく開幕! 詳細は、はさみこみのチラシを ご覧ください!	好評発売中 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
8月	東北の夢プロジェクト2024 楽しいオーケストラin岩手 トーサイクラシックホール岩手 （岩手県民会館） **5[月]16:30**	指揮：永峰 大輔　ピアノ：上原 彩子 お話とうた：江原 陽子 【第1部】オーケストラ! 【第2部】わくわくピアノ！ 【第3部】子どもたちのステージ 葛巻神楽「鶏舞」（葛巻町立葛巻中学校） 4校合同「つながる」絆合唱団 （岩手県立久慈高校、宮古高校、 釜石高校、高田高校） 【第4部】みんなでいっしょに	日本フィルeチケット♪ お問合せ： 岩手日報社事業部 019-653-4121
	フェスタ サマーミューザ KAWASAKI 2024 ミューザ川崎シンフォニーホール **9[金]15:00**	指揮：広上 淳一 ［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］ ヴァイオリン：服部 百音 J.シュトラウス2世：ポルカ《狩》 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー：交響曲第5番	好評発売中 お問合せ： ミューザ川崎 シンフォニーホール
	東北の夢プロジェクト2024 楽しいオーケストラin福島 けんしん郡山文化センター **11[日・祝]17:30**	指揮：永峰 大輔　ピアノ：上原 彩子 お話とうた：石井 あみ 【第1部】オーケストラ! 【第2部】わくわくピアノ！ 【第3部】子どもたちのステージ 請戸の田植踊（請戸芸能保存会） 田村市立船引中学校吹奏楽部 【第4部】みんなでいっしょに	日本フィルeチケット♪ お問合せ： 福島民報社事業局 024-531-4101
	落合陽一×日本フィル プロジェクトVOL.8 《変幻する音楽会》 サントリーホール **20[火]19:00**	演出・監修：落合 陽一 指揮：海老原 光　映像の奏者：WOW ゲスト：畑野熊野神社祭典青年鬼組（鬼太鼓） 藤倉大：「Demon Dance」（委嘱初演II） ベルリオーズ：幻想交響曲より 「魔女の夜宴の夢」他	日本フィルeチケット♪
	武蔵野合唱団 第54回定期演奏会 ミューザ川崎シンフォニーホール **23[金]19:00**	指揮：松井 慶太 ソプラノ：田崎 尚美* バリトン：大沼 徹*　バリトン：萩原 潤** 合　唱：武蔵野合唱団 ワーグナー：歌劇《タンホイザー》より(*) ウォルトン：オラトリオ 《ベルシャザールの饗宴》(**)	お問合せ：武蔵野合唱団

2024	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
8月	第22回東京音楽コンクール 金管部門本選 東京文化会館 **28[水]16:00**	指揮：鈴木 織衛 第2次予選通過者	お問合せ：東京文化会館
	東京フロイデ合唱団 第24回「第九」演奏会 東京芸術劇場 **30[金]19:00**	指揮：小松 長生 ソプラノ：小林 沙羅 メゾ・ソプラノ：林 美智子 テノール：福井 敬　バリトン：青山 貴 合唱：東京フロイデ合唱団 ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》	お問合せ： 東京フロイデ合唱団
9月	フレッシュ名曲コンサート サンパール荒川 **1[日]14:00**	指揮：角田 鋼亮 ヴァイオリン：橘和 美優 モーツァルト：交響曲第9番《合唱》 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ドヴォルジャーク：交響曲第8番	お問合せ： ACC公益財団法人荒川区 芸術文化振興財団
	第763回東京定期演奏会 サントリーホール **6[金]19:00** **7[土]14:00**	指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］ ブルックナー：交響曲第9番 （3楽章構成）	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第145回さいたま定期演奏会 ソニックシティ **13[金]19:00** 第23回相模原定期演奏会 相模女子大学グリーンホール **14[土]15:00** 第406回名曲コンサート サントリーホール **15[日]14:00**	指揮：原田 慶太楼 ヴァイオリン：辻 彩奈（9/13、15） ヴァイオリン：吉本 梨乃（9/14） ヒグドン：ファンファーレ・リトミコ ［日本初演］ モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第4番《軍隊》 ショスタコーヴィチ：交響曲第5番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	東京オペラシティ特別演奏会 東京オペラシティコンサートホール **20[金]19:00** 第400回横浜定期演奏会 サントリーホール **21[土]14:00**	指揮：カーチュン・ウォン［首席指揮者］ ピアノ：ゲルハルト・オピッツ ブラームス：ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー：交響曲第4番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪

日本フィル・サービスセンター TEL：03-5378-5911［平日10時-17時］
日本フィルeチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。www.japanphil.or.jp

＜広上淳一＆日本フィル「オペラの旅」Vol.1＞始動！

2025年4月、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一のオペラへの情熱や、教育者として若手音楽家への支援といった思いを受けて、日本フィルとしても新たな挑戦＜広上淳一＆日本フィル「オペラの旅」＞を始動します。このシリーズは演出に高島勲を迎え、ホールの舞台空間を活かした演出や衣裳等を取り入れたセミ・ステージ形式での上演を特徴とします。記念すべき第1弾はヴェルディの音楽と物語が融合された中期の傑作、《仮面舞踏会》を取り上げます。1989年、シドニー・オペラハウスで広上がはじめて指揮をした、思い出のオペラでもあります。ソリスト陣にはアメーリア役の中村恵理をはじめ、世界で活躍する新しい世代の日本の歌手陣がならびます。

広上淳一よりコメント

©Masaaki Tomitori

僕は死ぬまでに１、２年に一度くらいのペースで、オペラをゆっくりやってみたいと思っていました。このシリーズが僕の日本フィルでの最後の大きな仕事になるのではないかと思います。《仮面舞踏会》は、2023年に30年以上ぶりに取り上げ、最後にもう一度、日本フィルときちっとやりたいと思い、第1弾にもってきました。三角関係、恨み、ジェンダー、純愛など、いろいろな題材の入った傑作です。響きの良いサントリーホールで音楽を存分に楽しんでいただけると思います。オペラのように長い作品を俯瞰して、大きな波をつかんで作っていくことは日本フィルにとっても良い経験になりますし、日本の若い歌手を紹介する場にもしていきたいと思っています。また、日本フィルのお客様にも総合芸術の醍醐味を味わっていただけたらと思います。

2024年12月11日（水）10：00発売

広上淳一＆日本フィル「オペラの旅」Vol.1

2025年4月26日（土）17:00開演　27日（日）17:00開演　サントリーホール

指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］　演出：高島 勲
アメーリア：中村 恵理　リッカルド：宮里 直樹　レナート：池内 響
ウルリカ：福原 寿美枝　オスカル：盛田 麻央　シルヴァーノ：高橋 宏典
サムエル：田中 大揮　トム：杉尾 真吾　合唱：東京音楽大学

ヴェルディ：オペラ《仮面舞踏会》（セミ・ステージ形式／全3幕／字幕つき）

SS ¥12,000　S ¥ 9,500　A ¥ 8,000　B ¥ 6,500　C ¥ 5,000
D ¥ 3,000※一部見切れあり／電話のみ　Ys（25歳以下）¥ 4,000*
Gs（70歳以上）¥ 5,000*　*SS,S,D除く

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

マイケル・スペンサー コミュニケーション・ディレクター就任10周年！

2024年、マイケル・スペンサー氏が日本フィルのコミュニケーション・ディレクターに就任して10年目を迎えました。

コミュニケーション・ディレクター　―音楽による教育分野の専門家とともに―

2014年、日本フィルは英国を中心に世界的に活躍する音楽家でありファシリテーターのマイケル・スペンサー氏をコミュニケーション・ディレクターに迎えました。1999年からはじまった彼との教育分野や「被災地に音楽を」と連動しての協働事業は20年以上の実績を重ね、コロナ禍を経て、その関係性は新しい方法を開発しながら精力的に続いています。

マイケル・スペンサー Michael Spencer

ロンドン交響楽団ヴァイオリニストを経て、英国ロイヤルオペラハウス（ロンドン・コヴェントガーデン）の教育部長に就任し、アーツ・エデュケーションのリーダーとして、ヨーロッパ、アジア、アメリカ、アフリカ各国の表現芸術団体、アート・ギャラリーや主要会場でアドバイザーおよびプログラム・ディレクターとして功績を残している。

日本でも社団法人日本オーケストラ連盟・文化庁後援により、24のプロオーケストラと各地で教育プログラムを実施。2006年皇后陛下ご臨席のもと、紀尾井ホールにてワークショップ型コンサート開催。2008年には、教育ディレクターを務めた『ピーターと狼』がアカデミー賞（短編アニメ部門）を受賞した。

現在日本においては、日本フィルとの活動のほか上野学園大学客員教授および音楽文化研究センター客員研究員、多摩大学大学院グローバル・フェロー、東京大学客員教員を務める。

▲2014年5月 第一回オケのテイキは、おもしろい

©山口 敦

▲2018年5月 定期会員に向けたワークショップ

©平舘 平

▲2018年8月 大船渡でのワークショップ

©山口 敦

▲2021年10月 多文化共生型ワークショップ

©平舘 平

▲2024年4月 オケのテイキは、おもしろい

4月に開催した「オケのテイキは、おもしろい」のレポートはこちらよりご覧いただけます。

utena Moisture ウテナ モイスチャー

お求めはお近くのスーパー、ドラッグストア等で。

自然派のロングセラー　アロエエキス（保湿成分）配合スキンケア
ウテナ モイスチャーは1983年生まれ　いつもずっと あなたのそばに

utena
咲かせよう、まだないキレイを。

株式会社 ウ テ ナ
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22
お客様相談室 0120-305411　www.utena.co.jp

想像を、チカラに。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

笑顔をつなぐ、豊かな味わい。

素晴らしい音楽は、心を豊かにし、
人生に喜びを与えてくれる。
私たちハウス食品グループは、
音楽が人を幸せにするように、
食を通じて、笑顔ある暮らしを届けたい。
人と笑顔をつなぐ、
皆さまのグッドパートナーを目指して。

RAYNAUD LIMOGES

暮らしを彩る、レイノーの輝き。

1849年、フランスリモージュ地方で生まれたレイノー。
創業以来、フランスを始め世界各国の王室や著名なレストランと共に歩んできました。エレガントな輝きとこだわりのデザインは、今も多くの人々から愛されています。

ERCUIS RAYNAUD
エルキューイ・レイノー青山店
東京都港区北青山3-6-20 KFIビル2F
Tel.03-3797-0911 https://ercuis-raynaud.jp
ハウス食品グループ本社株式会社は、レイノー社製品の総輸入販売代理店です。

ホームページはこちらから

食でつなぐ、人と笑顔を。
House ハウス食品グループ

木を植え、森を育てることも、街づくりの大切な一部なんですね。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植える→育てる→使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。

植える → 育てる → 使う → 植える
持続可能な森づくり

三井のすずちゃん

さあ、街から未来をかえよう
三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

◀三井のすずちゃんページはこちら

三井不動産グループ保有林　北海道　深川市湯内

ストーリーを変える、
ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform Tomorrow Today

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

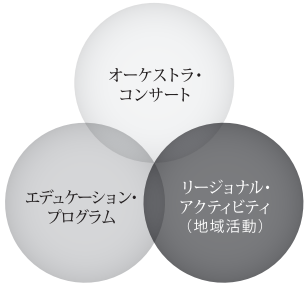
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右の二次元コードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《*オーケストラ・コンサート*》
音楽との出会いを広げる《*エデュケーション・プログラム*》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《*リージョナル・アクティビティ*》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越　真樹
株式会社アイレ　代表取締役社長 荒江　健
アイング株式会社　代表取締役会長 飯嶋　庸夫
赤坂維新號　代表取締役社長 鄭　東静
あすか製薬株式会社　代表取締役社長 山口　惣大
株式会社アトックス　代表取締役社長 矢口　敏和
株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤　孝
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田　昭司
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会
株式会社泉放送制作　代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社　代表取締役社長 磯野　計一
稲畑産業株式会社　代表取締役社長 稲畑勝太郎
株式会社インフォマート　代表取締役社長 中島　健
株式会社内田洋行　代表取締役社長 大久保　昇
内野株式会社　代表取締役社長 内野　信行
宇部エクシモ株式会社　代表取締役社長 古賀　源二
株式会社ＡＩＴ　代表取締役社長 大熊　克美
ABCシステム株式会社　代表取締役社長 児玉　光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤　茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋　常夫
NGB株式会社　代表取締役社長 宮﨑　潔
株式会社エルイーテック　代表取締役社長 坂田　洋一
エレコム株式会社　代表取締役会長 葉田　順治

大隅ミート産業株式会社　代表取締役社長 小森　浩一
株式会社大場造園　代表取締役社長 大場　二郎
岡三証券株式会社
小川香料株式会社　代表取締役社長 小川　裕
株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内　義彦
株式会社カカクコム　代表取締役社長 村上　敦浩
鹿島建設株式会社　代表取締役会長 押味　至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本　和雄
鹿島道路株式会社　代表取締役社長 吉田　英信
株式会社カナック企画　代表取締役 金子高一郎
株式会社カナデン　代表取締役社長 本橋　伸幸
株式会社 歌舞伎座　代表取締役社長 安孫子　正
株式会社ガモウ　代表取締役 蒲生　茂
社会医療法人河北医療財団　理事長 河北　博文
川北電気工業株式会社　取締役社長 大津　正己
北野建設株式会社　代表取締役会長兼社長 北野　貴裕
キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 高宮　満
株式会社協和日成　代表取締役社長 川野　茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎　功典
株式会社きんでん　取締役社長 上坂　隆勇
株式会社九曜社　代表取締役社長 望月　耕次

グローブシップ株式会社　代表取締役社長 矢口　敏和
京王重機整備株式会社　代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス　取締役社長 梁瀬　哲夫
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村　智史
株式会社小泉　代表取締役社長 長坂　剛
株式会社興建社　代表取締役 水島　隆明
コーザイ株式会社　代表取締役 貝沼　信和
株式会社講談社　代表取締役社長 野間　省伸
株式会社コバヤシ　代表取締役 小林　達夫
コンパッソ税理士法人　代表社員 内川　清雄
株式会社コトブキ　代表取締役社長 深澤　幸郎
株式会社コンサートサービス　代表取締役 佐藤　修悦
佐藤製薬株式会社　代表取締役社長 佐藤　誠一
三機工業株式会社　特別顧問 梶浦　卓一
山九株式会社　代表取締役社長 中村　公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪　剛史
三洋貿易株式会社　代表取締役社長 新谷　正伸
ジーエルサイエンス株式会社　取締役社長 長見　善博
株式会社慈恵実業　代表取締役社長 石塚　雄三
澁谷工業株式会社　取締役社長 澁谷　英利
株式会社じほう　代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社　代表取締役社長 井上　和幸
株式会社集英社　代表取締役社長 廣野　眞一
株式会社シェルター　代表取締役会長 木村　一義
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本　達也
株式会社ジャックス　代表取締役社長 村上　亮
株式会社ジンテック　代表取締役 柳　秀樹

杉山商事株式会社　代表取締役会長 杉山　健
住友ベークライト株式会社　代表取締役社長 藤原　一彦
株式会社スプリックス　代表取締役社長 常石　博之
全国保証株式会社　代表取締役社長 青木　裕一
第一倉庫株式会社　会長 小泉　駿一
株式会社泰秀　代表取締役社長 野口　通子
大正製薬株式会社　取締役会長 上原　明
大同生命保険株式会社　代表取締役社長 北原　睦朗
大日本除虫菊株式会社　代表取締役社長 上山　直英
大和製罐株式会社　代表取締役社長 山口　裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島　和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 永田　裕之
千代田化工建設株式会社　取締役 社長 太田　光治
株式会社千代田テクノル　代表取締役会長 細田　敏和
塚本總業株式会社　代表取締役社長 塚本　素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカ ケンメイ
学校法人帝京大学　理事長 冲永　佳史
株式会社T&Aマネジメント　代表取締役 長田忠千代
THK株式会社　代表取締役会長 寺町　彰博
株式会社電通　代表取締役 社長執行役員 佐野　傑
東亜建設工業株式会社　代表取締役社長 早川　毅
株式会社東急コミュニティー　取締役社長 木村　昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 城田　宏明
株式会社東京交通会館　代表取締役社長 興野　敦郎
東京都杉並区　区長 岸本　聡子
東京美装興業株式会社　代表取締役社長 八木　秀記

東洋熱工業株式会社　代表取締役社長　谷口　昌伸
戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
学校法人東京音楽大学　理事長　丸山恵一郎
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長　並木　洋一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　三輪　正浩
株式会社ニフコ　取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社
取締役 代表執行役社長・CEO　市井　明俊
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　今井　正
日本電子株式会社
代表取締役社長 兼 CEO　大井　泉
日本パーカライジング株式会社
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
株式会社美禅　代表取締役　堀　哲昭
非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也

富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団
古河産業株式会社　代表取締役社長　伊藤　啓真
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役社長CEO　清明　祐子
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　福留　朗裕
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井不動産株式会社　代表取締役会長　菰田　正信
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　久井　大樹
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　中野　智
三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　中島　篤

三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役社長　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
リガク・ホールディングス株式会社
代表取締役社長　川上　潤
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦
株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広

株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2024年7月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
青山やすし　東京都
明田　重樹　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
新井　康允　神奈川県
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
安西祐一郎　東京都
安藤　光一　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石津　寿惠　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊藤　好彦　東京都
伊藤　昌司　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
植村　昭三　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　麗子　東京都
大上二三雄　東京都
大久保　昇　神奈川県
大島　晶子　埼玉県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県

大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　昌子　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
片山　茂　千葉県
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　清　千葉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多芚久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木下　盛弘　東京都
木村　惠司　神奈川県
桐本　明子　東京都
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都

甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都
小林　和夫　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
佐藤　正知　東京都
佐藤　順英　福島県
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
島田　精一　東京都
島田　晴雄　東京都
島田　英繁　神奈川県
清水　幸雄　東京都
下河辺美知子　神奈川県
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
須賀　克敏　神奈川県
菅　千太郎　東京都
杉本　功　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
仙田　厚毅　千葉県
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
空田　幸徳　東京都
髙井　延幸　神奈川県
髙木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都
髙橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹中富知男　東京都

田中稀一郎　東京都
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
辻　雅夫　東京都
鳶井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
積田　孝一　東京都
東京フロイデ合唱団　東京都
東瀬　朗　新潟県
時枝　直満　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西谷　公男　東京都
西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー協会所沢支部　埼玉県
二村　英之　東京都
布村　清美　東京都
沼口　順子　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
濱田　尚人　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県

針谷　博史　東京都
日髙　好男　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
廣田　直人　東京都
深沢　茂実　神奈川県
深見　敏正　東京都
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
細谷　義徳　千葉県
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増井　俊之　神奈川県
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　譲　東京都
松村　美希　東京都
松本　信義　東京都
真野美千代　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮本　裕二　兵庫県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
森田　大輔　神奈川県
森田ハルヨ　東京都
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
谷野　剛　東京都

山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
山本　棟子　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉江　健志　千葉県
吉川　美保　東京都
吉田　知世　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉谷由美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
若林　昭子　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邊　裕志　山口県
Max Wong
M.K.
匿名65名

（2024年6月15日現在
50音順・敬称略）

Member's TVU CHANNEL
CLASSICAL MUSIC
クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でもご視聴いただけます（販売期間は特に記載のないものは6ヶ月です）。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

7/13 まで！

1月13日 さいたま定期演奏会 指揮:川瀬 賢太郎 ヴァイオリン:岡本 誠司
チャイコフスキー:《エフゲニー・オネーギン》よりポロネーズ
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲　J.シュトラウスⅡ世:ポルカ《ハンガリー万歳》
ブラームス:ハンガリー舞曲第5番　J.シュトラウスⅡ世:ワルツ《南国のバラ》
レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリアより「シチリアーナ」
J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇《こうもり》序曲

1月27日 東京定期演奏会 指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:児玉 麻里、児玉 桃
プーランク:2台のピアノのための協奏曲　コリン・マクフィー:タブー・タブーアン
ドビュッシー:交響詩《海》

4月28日 芸劇シリーズ 指揮・ピアノ:横山幸雄
ショパン:《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の主題による変奏曲／
アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ／ピアノ協奏曲第2番

5月18日 横浜定期演奏会 指揮:井上 道義 チェロ:佐藤 晴真
ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第2番　ショスタコーヴィチ:交響曲第10番

7月6日 さいたま定期演奏会 指揮:鈴木 優人
ベートーヴェン:交響曲第7番

7月12日 東京定期演奏会 指揮:広上 淳一
シューベルト:交響曲第8番《ザ・グレート》

訃 報　ジェームズ・ロッホラン氏

日本フィルハーモニー交響楽団 名誉指揮者のジェームズ・ロッホラン氏が6月19日に逝去されました。92歳でした。

日本フィルとは1980年5月の定期演奏会で、オール・ベートーヴェン・プログラムで初共演、以来26年に渡り継続的に指揮台に登場し、数々の心に残る演奏会を行いました。1993年9月には客演常任指揮者（のちに首席客演指揮者に改称）に就任、ベートーヴェン、ブラームス、マーラーをはじめ、幅広いレパートリーで日本フィルの演奏にクリアで爽やかな風を吹き込み、レパートリーの充実に寄与しました。2006年名誉指揮者の称号を授与。

お国ものであるイギリス音楽では、エルガーの交響曲第1番の日本初演（1980年）をはじめ、ヴォーン＝ウィリアムズ、ウォルトン、ディーリアス等、多くの作品の魅力を紹介。中でも、ハレ管弦楽団とのアルバムがゴールド・ディスク賞を受賞しているホルストの《惑星》は、日本フィルでも何度も取り上げ、多くのお客様に深い感動を残しました。

第21回九州公演（1996年）、北海道公演（1999年）といった長いツアーにも出演、来日の際はヴィオラ奏者のリュドミラ夫人と常に一緒で、ご夫妻と日本フィルは家族のような関係を築きました。あたたかく人間的だったマエストロとの思い出が次々とよみがえります。

マエストロに改めて深い感謝をささげるとともに、ここに謹んで哀悼の意を表します。

ジェームズ・ロッホラン［名誉指揮者］James Loughran

スコットランドのグラスゴーに生まれる。クレンペラー、ジュリーニ、ボールドが審査員を務めたフィルハーモニア管弦楽団主催の指揮者コンクールに優勝。その後英国の大部分のオーケストラを指揮、またコヴェント・ガーデン、サドラーズ・ウェルズでオペラ・デビューも果たし、ベンジャミン・ブリテンにより英国オペラグループの音楽監督に任命された。BBCスコティッシュ響の首席指揮者として、エディンバラ音楽祭に毎年出演。1970年、バルビローリの後任としてハレ管の芸術監督兼首席指揮者に就任。同管弦楽団とストックホルムからシドニーに至るまでのツアーを行い、マンチェスターの公演では最大観客動員数を記録した。またCDではEMIからゴールド・ディスクを受賞したほか、ベートーヴェン、ブラームス、エルガーの交響曲全集に対して世界的な評価を得ている。その後イギリス人として初めてドイツのメジャー・オーケストラのバンベルク響首席指揮者に迎えられ、各地へツアーを行う一方、ストックホルム・フィル、BBC響とも親密な関係を保ち、特にBBC響とはヘンリー・ウッド・プロムスのラスト・ナイトに5回も出演している。BBCウェールズ・ナショナル響の首席指揮者としても、数多くのTV番組を制作すると同時にツアーも多く行っている。また、ロンドン・フィルやスコットランド室内管とも日本ツアーを行う。近年ではスカンジナヴィアやヨーロッパ本土のオーケストラを中心に活動を行い、1996年7月よりデンマークのオーフス響首席指揮者に就任。日本フィルには1980年以来たびたび客演し、1993年9月首席客演指揮者に就任。

（2006年11月日本フィル東京定期演奏会のプロフィールより）

● 訃報 名誉指揮者のジェームズ・ロッホラン氏

日本フィルハーモニー交響楽団 名誉指揮者のジェームズ・ロッホラン氏が6月19日に逝去されました。92歳でした。ご冥福をお祈りいたします。詳細はP33をご覧ください

● 第766回東京定期演奏会 出演者変更のお知らせ

2024年11月29日(金)、30日(土)の第766回東京定期演奏会に出演を予定しておりました指揮の沖澤のどか氏は、11月に出産予定となりましたため、当公演への出演を取りやめることとなりました。

なお、当日の指揮には日本初登場となるポーランドの新星、パヴェウ・カプワ氏が出演いたします。ソリスト・プログラムに変更はございません。

何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

指揮:パヴェウ・カプワ
ピアノ:セドリック・ティベルギアン
ブラームス:ピアノ協奏曲第2番
シューマン:交響曲第2番

1回券発売:7月18日(木)

● 落合陽一×日本フィルプロジェクト クラウドファンディングのお願い

8月20日開催の落合陽一×日本フィルプロジェクトでは「音楽の喜びあい」を支援してくださるサポーターも募集しています。実施への思いなどはサイトから。

【URL】 https://readyfor.jp/projects/vol8
【期間】 8月27日(火)23:00まで

● テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54〜23:00(第3週、第4週は再放送)。ぜひご覧ください!

● もうすぐ発売

2024年8月30日(金)発売　第408回名曲コンサート

2024年11月24日(日)14:00開演　サントリーホール

指揮:ピエタリ・インキネン　ヴァイオリン:神尾真由子

グラズノフ:ヴァイオリン協奏曲　R.シュトラウス:アルプス交響曲

2024年9月12日(木)発売　第九特別演奏会2024

【下野 竜也指揮】

2024年12月15日(日)14:00開演　サントリーホール

※12/21横浜定期演奏会公演は発売中

【小林 研一郎指揮】

2024年12月22日(日)14:00開演　サントリーホール
2024年12月25日(水)19:00開演　ミューザ川崎シンフォニーホール
2024年12月26日(木)19:00開演　昭和女子大学人見記念講堂
2024年12月27日(金)19:00開演　東京オペラシティコンサートホール
2024年12月28日(土)14:30開演　横浜みなとみらいホール

ベートーヴェン:交響曲第9番　他

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

6月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50音順・敬称略)倉橋 明彦、村上 一平、匿名6名

ご寄付の方法　ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日10 時〜17 時)　FAX:03-5378-6161(24時間)　E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者	渡邉 曉雄	首席指揮者	カーチュン・ウォン
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン		
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ		

ソロ・コンサートマスター	扇谷　泰朋		
ソロ・コンサートマスター	木野　雅之		
ソロ・コンサートマスター	田野倉雅秋		
アシスタント・コンサートマスター	千葉　清加		
第1ヴァイオリン	伊藤　太郎	太田　麻衣	九鬼　明子
	齋藤　政和	榊　渚	竹歳　夏鈴
	谷﨑　大起	田村　昭博	中谷　郁子
	西村　優子	平井　幸子	本田　純一
第2ヴァイオリン	遠藤　直子	大貫　聖子	岡田　紗弓
	加藤　祐一	神尾あずさ	川口　貴
	佐藤駿一郎	末廣　紗弓	豊田　早織
	町田　匡	松川　葉月	山田　千秋
ヴィオラ	安達　真理☆	江藤　史織	小俣　由佳
	小中澤基道	児仁井かおり	高橋　智史
	中川裕美子	中溝とも子	松澤　稚奈
ソロ・チェロ	門脇　大樹		
ソロ・チェロ	菊地　知也		
チェロ	石崎　美雨	伊堂寺　聡	江原　望
	大澤　哲弥	久保　公人	山田　智樹
コントラバス	髙山　智仁◎	鈴村　優介	成澤　美紀
	宮坂　典幸	森田麻友美	山口　雅之
フルート	真鍋　恵子◎	齋藤　光晴	難波　薫
オーボエ	杉原由希子◎	松岡　裕雅○	佐竹　真登
クラリネット	伊藤　寛隆◎	楠木　慶○	照沼　夢輝
	堂面　宏起		
ファゴット	田吉佑久子◎	鈴木　一志○	大内　秀介
	中川日出鷹		
ホルン	丸山　勉☆	信末　碩才◎	伊藤　舜
	宇田　紀夫	原川翔太郎	村中　美菜
ソロ・トランペット	オッタビアーノ・クリストーフォリ		
トランペット	大西　敏幸◎	犬飼　伸紀	中里　州宏
	中務　朋子	星野　究	
トロンボーン	伊藤　雄太◎	笠間　勇登	
バス・トロンボーン	中根　幹太		
テューバ	柳生　和大		
ティンパニ	エリック・パケラ◎	池田　健太	
パーカッション	大河原　渉		
ハープ	松井　久子		

楽団長	星野　究		
チーフステージマネージャー	阿部　紋子		
ステージスタッフ	長橋　健太	森田　大翔	
チーフインスペクター	佐藤駿一郎		
インスペクター	宇田　紀夫	鈴村　優介	谷﨑　大起
ライブラリアン	鬼頭さやか	杉本　哲也	

☆客演首席奏者　◎首席奏者　○副首席奏者　□試用期間

理事長(代表理事)	平井　俊邦
副理事長(代表理事)	五味　康昌
専務理事(代表理事)	福井　英次
常務理事(代表理事)	後藤　朋俊
理事	石井啓一郎／石塚　邦雄 佐々木経世／田村　浩章 戸所　邦弘／中根　幹太 葉田　順治／福本ともみ
監事	上條　貞夫／福澤　宏哉
評議員会会長	加藤　丈夫
評議員	青井　浩／安孫子　正 荒蒔康一郎／石村　等 稲垣　尚／内川　清雄 大塚　宣夫／海堀　周造 梶浦　卓一／河北　博文 喜多　崇介／木村　惠司 久保田　隆／小林研一郎 島田　精一／津田　義久 西澤　豊／野間　省伸 福満　一夫／村上典吏子 山口多賀幸
名誉顧問	熊谷　直彦
名誉顧問	島田　晴雄
名誉顧問	田邊　稔
ミュニケーション・ディレクター	マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ	淺見　浩司／磯部　一史 江原　陽子／及川ひろか 小川紗智子／荻島　里帆 賀澤　美和／柏熊由紀子 小須田　萌／佐々木文雄 澤田　智夫／篠崎めぐみ 杉山　綾子／杉山まどか 高橋　勇人／田中　正彦 槌谷　祐子／中村沙緒里 西田　大輔／西田　真菜 長谷川珠子／藤田　千明 藤村　益江／別府　一樹 益滿　行裕／宗澤　晶子 山岸　淳子／吉岡　浩子
シニア・パートナー	新井　康允／伊波　睦 永島　義郎／南部　洋一

団　友:

青柳　哲夫／青山　均／赤堀　泰江
新井　豊治／石井啓一郎／伊藤　恒男
伊波　睦／遠藤　功／遠藤　剛史
大石　修／大川内　弘／筧　美知子
金本　順子／蒲谷　隆行／川口　和宏
菊田　秋一／岸良　開城／吉川　利幸
木村　正伸／小林　俊夫／小山　清
斎藤　千種／佐々木裕司／佐藤　玲子
菅原　光／髙木　裕子／髙木　雄司
高木　洋／高倉　理実／田沢　烈
立川　和男／堂阪　俊子／富樫　尚代
豊田　尚生／中川　二朗／永田　健一
中務　幸彦／奈切　敏郎／橋本　洋
畑井紀代子／平賀　法子／福島　喜裕
松本　克巳／松本　伸二／三本　克郎
宮武　良平／三好　明子／森　茂
山下　進三／山科　淑子／渡辺　哲雄

(2024年7月1日現在)

チケットお申込・お問い合せ

［日本フィル・サービスセンター］

TEL.03-5378-5911(平日10時～17時)

eチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311

https://japanphil.or.jp

公式 X(旧Twitter)
@Japanphil

LINE 公式アカウント

BS朝日 5 「Welcome クラシック」
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!

7月からリニューアル! おたのしみに!
日本フィル公式YouTube YouTube
「5分でわかる!
大人のためのオーケストラ入門」
毎月10日・20日にお届け

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA SUBSCRIPTION CONCERTS Vol.762

第762回 東京定期演奏会